

化学療法・緩和ケアチーム

1. 目的

抗がん剤治療による患者・医療従事者双方の安全確保。化学療法の知識を率先して学び、患者さまが安心して化学療法をおこなえるよう援助する。関係職員への教育活動をおこなう。

緩和ケアチームとして、がん患者さまとその家族がもつ心と身体の痛みを和らげ、QOL の高い状態で、その人（家族）らしい生活を過ごせるように支援する。緩和ケアの知識を学び、関係職員への教育活動をおこなう。

2. 委員構成

医師（厚生労働省指定緩和ケア研修会修了者）、薬剤師、外来看護師、病棟看護師

3. 業務内容

月一回 定例会議の開催

(1) 化学療法

化学療法を施行中の患者リストを作成し、クール、情報共有等をおこないます。新規レジメンの検討ならびに登録をおこないません。患者さまが安全に、安心して治療を受けていただけるように配慮します。抗がん剤の曝露防止のために CSTD を使用しています。

(2) 緩和ケア

麻薬性鎮痛剤使用中の患者リストを作成し、疼痛緩和の状況や副作用発現の有無を確認し、用量の検討や対症療法薬の必要性など医師へ提案します。必要に応じて回診

を行います。ご本人の意思や家族からの相談などの情報共有をおこないます。また緩和医療を予定とする患者についても情報共有等をおこないます。

4. 実績

2016年1月～12月、介入または把握検討した患者数

化学療法介入 9件

胃がん：S-1療法 2件

大腸がん：mFOLFOX+Bmab療法 2件

術後UFT/LV療法 2件

S-1療法 1件

前立腺がん：ホルモン療法（注）2件

- ・新CSTDの導入
- ・他施設研修（看護師）

緩和ケア介入 24件

- ・緩和ケアチームによる回診
- ・緩和ケアマニュアル改訂
- ・緩和ケア学習会開催